

クラス番号	618	担当教員名	田中 千枝子
テーマ	医療と福祉を事例から考える		
著書・論文 研究課題等	『医療福祉ソーシャルワーク論』勁層書房（2015） 『保健医療ソーシャルワーク～アドバンスト実践のために～』中央法規(2017) 『介護・福祉の支援人材養成・開発論』勁草書房（2017） 「生活困窮者への健康支援」『社会福祉研究』鉄道弘済会（2016） 翻訳責任編集 A.Kadushin & F.Harkness 『スーパービジョンインソーシャルワーク第5版』（2017）中央法規 など 保健医療ソーシャルワーク スーパービジョン 意思決定支援 スモン被害者		

ゼミナール概要

キーワード：事例研究 SWプロセス SWアセスメント エコマップ タイムライン スーパービジョン

目的、内容、方法等：

本ゼミは将来ソーシャルワーカーとして就労し、実践的に動ける専門性の基礎を作ることを目的とします。その意味でP SW志望なのかMSW志望なのかという選択の考え方ではなく、2つともまたそれ以外でもソーシャルワーカーという相談職になりたいという強い気持ちを持っていればゼミ仲間として歓迎します。

勉強方法として、ゼミ仲間との交流や外部の関係機関や多職種との討議や連携・協働の体験を通じて、基本的なコミュニケーション能力を養成します。また多様な領域の社会福祉の知識について事例を通じて学びながら、その必要な情報を収集し、専門的なアセスメントを仲間と討論する訓練をしながら、SW体験を積み重ねます。それらを通じて人を支援することの重要性と困難性を考察しつつ、専門職としての能力形成に邁進できるよう、一人一人がSWの魅力に気づけるといいなと考えています。

プログラムでは、3年前期はソーシャルワークの基礎知識と技術の獲得に必要な基礎的学習を進めつつ、医療専修としてのイベントや多職種カンファレンスを実施するための様々な対外的な活動を行います。医師や看護師・多職種に話を聞くようなフィールドワークやゲスト講師を交渉し講義をコーディネートすることを学ぶなかで、地域社会ではどのような仕組みで支援体制が成立し、その中でソーシャルワーカーはどのように動いているのかについて、具体的な事例を通じて学びます。3年の夏にはゼミ合宿を、各地の病院や大学との交流を目的に、卒論発表会もかねたものとして行います。3年後期ではSW実習を行なった後、自分が体験した事例を支援事例として整理しアセスメントを行い、仲間同士で理解する事例検討と教員によるスーパービジョンを行います。15名全員が発表します。4年前期には各自専門実習や就職活動・国試準備を行いながら、卒論を早期に仕上げるようその4本柱でゼミを実施していきます。4年後期には国試と就職活動、実践の準備のため、月1回先輩との事例検討会であるケーススタディクラブの参加とつながります。そのため4年生になって一般企業に就職するとか、国試を受験しないメンバーがでると、ゼミの進行に乗れなくなる恐れがあります。その場合ゼミ仲間の協力と個人のゼミ参加の努力が必要となります。

授業計画：

3年前期：基礎的SWの知識と技術の獲得のための事例検討 ケースカンファレンス企画・実施を通じた多職種連携のためのフィールドワークと話し合いを柱に 3年後期：ゼミ合宿を挟んでSW実習の結果を展開し、1人1回事例のスーパービジョンを受ける 実際の実践を体験する 4年前期：専門実習の準備と実施、就職活動、卒論作成、国試準備の4本柱で仲間と一緒に合同勉強 4年後期：卒論と専門実習の修了により、残った就職活動と国試準備、就労準備としての先輩との実践共有のためのケーススタディクラブ参加

担当教員からのメッセージ

毎年 多くの学生が「ちえゼミ」を希望してくださってありがたいと思っています。皆様のソーシャルワークを学びたいと言う熱意に答えたいと、いろいろ工夫しながら日々考えているところです。最近 MSWやP SWの就職が好調な状態が続いています。ゼミ選択のカードをみると、MSWのみならず領域を問わずSWになりたいから、ちえゼミに入りたいという希望者がほとんどです。それはそれで熱意の結果ですからよいことです。しかし「SWになりたい」と書いてくれる人たちのうちには「私は将来～をしたいので、SWになりたいのです」とか「SWになって～をするために、ゼミでは～を学びたいです」といったことを続けてくれるコメントはほとんどありません。ちえゼミでの出会いをより有効なものにするためのゼミ選択の機会なので、ぜひ将来の夢や目標も考えながら慎重に考えて選択してください。